

研究業績リスト

2020年6月25日 現在

■ 国内学会発表等 163 件

- 1) 森田智裕, 鈴木康祐, 吉野正人, 「管内を流れる氷スラリーにおける氷粒子の扁平率の影響」, 第 25 回計算工学講演会要旨集, E06-5, 8 pages, 北九州市 (2020).
- 2) 小林拳, 吉野正人, 鈴木康祐, 「蒸発・凝縮を考慮した自由表面－格子ボルツマン法の積層造形への適用」, 第 25 回計算工学講演会要旨集, E06-5, 8 pages, 北九州市 (2020).
- 3) 鈴木康祐, 黒岩拓矢, 吉野正人, 「埋め込み境界－格子ボルツマン法を用いた 3 次元ダクト内の氷スラリー熱流動解析」, 第 57 回伝熱シンポジウム講演要旨集, J211, 1 page, 石川県金沢市 (2020).
- 4) 黒岩拓矢, 鈴木康祐, 吉野正人, 「熱を考慮した埋め込み境界－格子ボルツマン法による三次元ダクト内の氷スラリー熱流動解析」, TOKAI ENGINEERING COMPLEX 2020 (TEC20) 東海支部第 69 期総会・講演会, 313, 2 pages, 名城大学 (2020).
- 5) 黒岩拓矢, 吉野正人, 鈴木康祐, 「熱を考慮した埋め込み境界－格子ボルツマン法を用いた正方形ダクト内における氷スラリーの熱流動解析」, 第 33 回数値流体力学シンポジウム講演要旨集, E06-5, 8 pages, 北海道大学 (2019).
- 6) 津江耕太郎, 鈴木康祐, 吉野正人, 「埋め込み境界－格子ボルツマン法を用いた蝶を模した羽ばたき翼－胴体モデルの羽ばたき飛翔における翼長方向の翼の柔軟性の影響」, 第 33 回数値流体力学シンポジウム講演要旨集, E06-4, 9 pages, 北海道大学 (2019).
- 7) 宮津尚希, 吉野正人, 鈴木康祐, 「保存型 Allen-Cahn 方程式を導入した改良二相系格子ボルツマン法の液滴二体衝突問題への適用」, 第 33 回数値流体力学シンポジウム講演要旨集, E06-3, 6 pages, 北海道大学 (2019).
- 8) 日置文弥, 鈴木康祐, 吉野正人, 「埋め込み境界－格子ボルツマン法を用いた蝶を模した羽ばたき翼－胴体モデルの羽ばたき飛翔に対する前翼と後翼の動作の差の影響」, 第 33 回数値流体力学シンポジウム講演要旨集, E06-2, 8 pages, 北海道大学 (2019).
- 9) 津江耕太郎, 鈴木康祐, 吉野正人, 「蝶を模した羽ばたき翼－胴体モデルの空力性能に対する翼長方向の翼の柔軟性の影響」, 日本流体力学会 年会 2019 講演要旨

集, No. 053, 7 pages, 電気通信大学 (2019).

- 10) 日置文弥, 鈴木康祐, 吉野正人, 「蝶を模した羽ばたき翼－胴体モデルの空力性能に対する前翼・後翼の動作の差の影響」, 日本流体力学会 年会 2019 講演要旨集, No. 052, 7 pages, 電気通信大学 (2019).
- 11) 吉野正人, 佐々木康平, 鈴木康祐, 「粘性項を修正した改良二相系格子ボルツマン法の雲粒子衝突問題への適用」, 混相流シンポジウム 2019 講演論文集, A315, 2 page, 福岡大学 (2019).
- 12) 黒岩拓矢, 鈴木康祐, 吉野正人, 「熱を考慮した埋め込み境界－格子ボルツマン法の正方形ダクト内における氷スラリー熱流動問題への適用」, 第 56 回伝熱シンポジウム講演要旨集, G234, 6 pages, 徳島県徳島市 (2019).
- 13) 加藤武志, 吉野正人, 鈴木康祐, 「三次元羽ばたき飛翔解析における渦法と埋め込み境界-格子ボルツマン法の比較研究」, 第 32 回数値流体力学シンポジウム講演要旨集, F10-4, 7 pages, 東京都港区 (2018).
- 14) 中井史也, 吉野正人, 鈴木康祐, 「埋め込み境界－格子ボルツマン法を用いた蝶を模した羽ばたき翼－胴体モデルの推進力向上とピッチング回転制御」, 第 32 回数値流体力学シンポジウム講演要旨集, F10-3, 7 pages, 東京都港区 (2018).
- 15) 鈴木康祐, 吉野正人, 「応力テンソルの不連続条件を用いた埋め込み境界-格子ボルツマン法の改良」, 第 32 回数値流体力学シンポジウム講演要旨集, F10-1, 8 pages, 東京都港区 (2018).
- 16) 藤島亘平, 吉野正人, 鈴木康祐, 「改良二相系格子ボルツマン法による固体壁面上における三次元液滴衝突挙動解析」, 第 32 回数値流体力学シンポジウム講演要旨集, F09-4, 7 pages, 東京都港区 (2018).
- 17) 川崎剛史, 吉野正人, 鈴木康祐, 「熱を考慮した埋め込み境界－格子ボルツマン法を用いた管内における氷スラリーの熱流動解析」, 第 32 回数値流体力学シンポジウム講演要旨集, F08-5, 8 pages, 東京都港区 (2018).
- 18) 藤島亘平, 吉野正人, 鈴木康祐, 「改良二相系格子ボルツマン法の固体壁面上における三次元液滴衝突問題への応用」, 日本流体力学会 年会 2018 講演要旨集, No. 133, 6 pages, 大阪大学 (2018).
- 19) 中井史也, 鈴木康祐, 吉野正人, 「蝶を模した羽ばたき翼－胴体モデルの推進力向上と前進速度制御」, 日本流体力学会 年会 2018 講演要旨集, No. 132, 7 pages, 大阪大学 (2018).
- 20) 川崎剛史, 吉野正人, 鈴木康祐, 「熱を考慮した埋め込み境界－格子ボルツマン法とその氷スラリー熱流動問題への適用」, 第 55 回伝熱シンポジウム講演要旨集, B323, 5 pages, 北海道札幌市 (2018).

- 21) 黒岩拓矢, 吉野正人, 鈴木康祐, 「熱を考慮した埋め込み境界—格子ボルツマン法による二次元攪拌問題の熱流動解析」, 第 55 回伝熱シンポジウム講演要旨集, J311, 5 pages, 北海道札幌市 (2018).
- 22) 青木崇晃, 鈴木康祐, 吉野正人, 「蝶を模した羽ばたき翼—胴体モデルの羽ばたき飛翔における翼弦方向の翼の柔軟性の影響: 埋め込み境界—格子ボルツマン法による数値計算」, 第 31 回数値流体力学シンポジウム講演要旨集, D07-4, 9 pages, 京都工芸繊維大学 (2017).
- 23) 吉田佳広, 鈴木康祐, 吉野正人, 「埋め込み境界—格子ボルツマン法によるピッチング回転制御を行う蝶を模した羽ばたき翼—胴体モデルの数値計算」, 第 31 回数値流体力学シンポジウム講演要旨集, D07-3, 6 pages, 京都工芸繊維大学 (2017).
- 24) 鈴木康祐, 吉野正人, 「蝶の翼形状と同程度の空力性能を持つ台形翼: 埋め込み境界格子ボルツマン法による数値計算を用いた探索」, 第 31 回数値流体力学シンポジウム講演要旨集, D07-2, 7 pages, 京都工芸繊維大学 (2017).
- 25) 飯田峻也, 吉野正人, 鈴木康祐, 米倉一男, 斉藤弘樹, 「格子ボルツマン法を用いた積層造形における金属の熔融凝固解析の実装と検証」, 第 31 回数値流体力学シンポジウム講演要旨集, D05-3, 9 pages, 京都工芸繊維大学 (2017).
- 26) 澤田純平, 吉野正人, 鈴木康祐, 「改良二相系格子ボルツマン法による雲内における異径微小水滴の挙動解析」, 第 31 回数値流体力学シンポジウム講演要旨集, D05-2, 7 pages, 京都工芸繊維大学 (2017).
- 27) 澤田純平, 吉野正人, 鈴木康祐, 「改良二相系格子ボルツマン法による雲内における微小水滴が接近する際の挙動解析」, 第 15 回日本流体力学会中部支部講演会 講演概要集, 6-3, 名古屋工業大学 (2017). 【中部支部講演会優秀賞 受賞】
- 28) 松永克樹, 飯田峻也, 吉野正人, 鈴木康祐, 米倉一男, 斉藤弘樹, 「格子ボルツマン法を用いた金属の熔融凝固解析の実装および検証」, 第 15 回日本流体力学会中部支部講演会 講演概要集, 5-2, 名古屋工業大学 (2017).
- 29) 森口巧海, 吉野正人, 鈴木康祐, 「矩形断面 T 字管内における物質移動を考慮した液液二相スラグ流解析」, 第 15 回日本流体力学会中部支部講演会 講演概要集, 5-1, 名古屋工業大学 (2017).
- 30) 青木崇晃, 鈴木康祐, 吉野正人, 「翼後縁に柔軟性を考慮した蝶を模した羽ばたき翼—胴体モデルによる羽ばたき飛翔解析」, 第 15 回日本流体力学会中部支部講演会 講演概要集, 4-1, 名古屋工業大学 (2017).
- 31) 青木崇晃, 鈴木康祐, 吉野正人, 「蝶を模した翼—胴体モデルの羽ばたき飛翔における翼弦方向の翼の柔軟性の影響」, 日本流体力学会 年会 2017 講演要旨集, No. 056, 7 pages, 東京理科大学 (2017).

- 32) 吉田佳広, 鈴木康祐, 吉野正人, 「蝶を模した羽ばたき翼－胴体モデルにおける胸部に対する腹部の相対運動によるピッチング回転制御」, 日本流体力学会 年会 2017 講演要旨集, No. 055, 6 pages, 東京理科大学 (2017).
- 33) 澤田純平, 吉野正人, 鈴木康祐, 「改良二相系格子ボルツマン法による雲内における微小水滴の挙動解析」, 混相流シンポジウム 2017 講演論文集, C313, 2 page, 電気通信大学 (2017).
- 34) 本江晶絵, 鈴木康祐, 吉野正人, 「翼後縁に柔軟性を考慮した二次元翼型による羽ばたき飛翔解析」, TOKAI ENGINEERING COMPLEX 2017 (TEC17) 第 66 期総会・講演会, 410, 2 pages, 静岡大学 (2017).
- 35) 中島紘基, 吉野正人, 鈴木康祐, 「二相系格子ボルツマン法を用いた固体壁面上における液滴の衝突挙動解析」, TOKAI ENGINEERING COMPLEX 2017 (TEC17) 第 66 期総会・講演会, 404, 2 pages, 静岡大学 (2017).
- 36) 鈴木康祐, 吉野正人, 「応力テンソルの不連続条件を用いた埋め込み境界－格子ボルツマン法の提案」, 第 30 回数値流体力学シンポジウム講演要旨集, B05-5, 7 pages, 東京都江戸川区 (2016).
- 37) 岡田伊織, 鈴木康祐, 吉野正人, 「羽ばたき飛翔における翼の質量の影響：蝶を模した三次元羽ばたき翼－胴体モデルの場合」, 日本流体力学会 年会 2016 講演要旨集, No. 088, 5 pages, 名古屋工業大学 (2016).
- 38) 青木崇晃, 鈴木康祐, 吉野正人, 「羽ばたき飛翔における翼の質量の影響：二次元対称羽ばたき翼の場合」, 日本流体力学会 年会 2016 講演要旨集, No. 087, 6 pages, 名古屋工業大学 (2016).
- 39) 鈴木康祐, 吉野正人, 「応力テンソルの不連続性を用いた新しい埋め込み境界－格子ボルツマン法」, 日本機械学会 第 29 回計算力学講演会 (CMD2016) (CDROM), No. 316, 3 pages, 名古屋大学 (2016).
- 40) 飯田峻也, 森口巧海, 吉野正人, 鈴木康祐, 「格子ボルツマン法による T 字管内の液液二相スラグ流解析」, 日本機械学会 第 29 回計算力学講演会 (CMD2016), No. 315, 3 pages, 名古屋大学 (2016).
- 41) 松永克樹, 吉野正人, 鈴木康祐, 「改良 bounce-back 法を適用した移動境界流れの二相系格子ボルツマン法の妥当性検証」, 日本機械学会 第 29 回計算力学講演会 (CMD2016), No. 246, 3 pages, 名古屋大学 (2016).
- 42) 根市裕太郎, 坂部孝良, 飯盛浩司, 高橋徹, 吉野正人, 松本敏郎, 「LBM を用いた散逸エネルギーを最大にする流路構造のトポロジー最適化」, 日本機械学会 第 29 回計算力学講演会 (CMD2016), No. 156, 3 pages, 名古屋大学 (2016).

- 43) 澤田純平, 吉野正人, 鈴木康祐, 「二相系格子ボルツマン法を用いた異径液滴衝突の数値解析」, 混相流シンポジウム 2016 講演論文集, D323, 2 page, 同志社大学 (2016).
- 44) 吉野正人, 「二相系格子ボルツマン法による混相流シミュレーション」, 第 25 回格子ボルツマン法の基礎と応用に関する研究会, 富山大学 (2016).
- 45) 青木崇晃, 鈴木康祐, 吉野正人, 「2 次元対称羽ばたき翼の自由飛翔における翼の質量の影響」, 日本機械学会北陸信越支部第 53 期総会・講演会, 1603, 5 pages, 信州大学 (2016).
- 46) 澤田純平, 吉野正人, 鈴木康祐, 「二相系格子ボルツマン法による異径液滴の衝突挙動解析」, 日本機械学会北陸信越支部第 53 期総会・講演会, 1602, 5 pages, 信州大学 (2016).
- 47) 鈴木康祐, 吉野正人, 「蝶を模した羽ばたき翼モデルにおける翼平面形状と渦構造の関係: 埋め込み境界-格子ボルツマン法による数値計算」, 第 29 回数値流体力学シンポジウム講演要旨集, D04-4, 5 pages, 九州大学 (2015).
- 48) 中村泰人, 吉野正人, 鈴木康祐, 「CSF モデルを用いた改良二相系格子ボルツマン法による微小水滴の衝突挙動解析」, 第 29 回数値流体力学シンポジウム講演要旨集, D04-4, 5 pages, 九州大学 (2015).
- 49) 鈴木康祐, 岡田伊織, 吉野正人, 「埋め込み境界-格子ボルツマン法による平板上の層流境界層の計算精度」, 第 13 回日本流体力学会中部支部講演会 講演概要集, 1-1, 富山大学 (2015).
- 50) 鈴木康祐, 吉野正人, 「回転翼モデルと蝶を模した羽ばたき翼モデルによる揚力および動力比較」, 日本流体力学会 年会 2015 講演要旨集, 125, 7 pages, 東京工業大学 (2015).
- 51) 矢地謙太郎, 山田崇恭, 吉野正人, 松本敏郎, 泉井一浩, 西脇眞二, 「二相系格子ボルツマン法を用いた流路デバイスのトポロジー最適化」, 日本機械学会 2013 年度年次大会, J1240104, 北海道大学 (2015).
- 52) 吉野正人, 「格子ボルツマン法の基礎と混相流問題への適用について」, 第 57 回「乱流遷移の解明と制御」研究会, 信州大学 (2015).
- 53) 武田寛史, 松本敏郎, 吉野正人, 山田崇恭, 高橋徹, 飯盛浩司, 「2 次元流れ場形状の LBM を用いたトポロジー最適化」, 日本機械学会 第 11 回最適化シンポジウム 2014 (OPTIS2014), 2215, 金沢市 (2014).
- 54) 鈴木康祐, 吉野正人, 「埋め込み境界-格子ボルツマン法による回転翼モデルと蝶を模した羽ばたき翼モデルの比較計算」, 第 28 回数値流体力学シンポジウム講演要旨集(CDROM), D05-4, 7 pages, 東京都江戸川区 (2014).

- 55) 下口拓志, 吉野正人, 鈴木康祐, 名取武治, 濱田正和, 「二相系格子ボルツマン法を用いたクリームはんだ印刷機内の版離れ過程における気液二相流解析」, 第 28 回数値流体力学シンポジウム講演要旨集(CDROM), D04-4, 5 pages, 東京都江戸川区 (2014).
- 56) 深谷昇弘, 吉野正人, 鈴木康祐, 「二相系格子ボルツマン法を用いた雲中における微小水滴の衝突挙動解析」, 第 28 回数値流体力学シンポジウム講演要旨集 (CDROM), D04-3, 5 pages, 東京都江戸川区 (2014).
- 57) 矢地謙太郎, 山田崇恭, 吉野正人, 松本敏郎, 泉井一浩, 西脇眞二, 「格子ボルツマン法を用いた熱流体デバイスのレベルセット法に基づくトポロジー最適化」, 日本機械学会 第 27 回計算力学講演会 (CMD2014) (CDROM), No. 1102, 2 pages, 岩手大学 (2014).
- 58) 深谷昇弘, 吉野正人, 鈴木康祐, 「二相系格子ボルツマン法を用いた微小水滴の衝突挙動解析」, 第 12 回日本流体力学会中部支部講演会 講演概要集, 3-2, p. 9, 三重大学 (2014). 【中部支部講演会優秀賞 受賞】
- 59) 鈴木康祐, 吉野正人, 「回転翼モデルと蝶を模した羽ばたき翼モデルによる揚力および動力比較」, 日本流体力学会 年会 2014 講演要旨集, 182, 6 pages, 東北大学 (2014).
- 60) 天野慎也, 吉野正人, 「二相系格子ボルツマン法を用いた分岐部を流れる粒子の挙動解析」, 第 27 回数値流体力学シンポジウム講演要旨集, D08-2, 6 pages, 名古屋大学 (2013).
- 61) 小宮山智, 吉野正人, 飯沼幹雄, 「網目状多孔体内における熱流動現象の数値解析」, 第 11 回日本流体力学会中部支部講演会 講演概要集, 2-3, p. 7, 名古屋大学 (2013).
- 62) 當舎諒美, 吉野正人, 「T 字型マイクロリアクタにおける液液二相スラグ流の数値計算」, 第 11 回日本流体力学会中部支部講演会 講演概要集, 2-2, p. 6, 名古屋大学 (2013). 【中部支部講演会優秀賞 受賞】
- 63) 守田拓朗, 松本敏郎, 山田崇恭, 吉野正人, 高橋徹, 飯盛浩司, 「Bounce-back 境界条件を用いた格子ボルツマン法による流れ場のトポロジー最適化」, 日本機械学会 第 26 回計算力学講演会 (CMD2013) (CDROM), No. 2206, 3 pages, 佐賀大学 (2013).
- 64) 矢地謙太郎, 山田崇恭, 吉野正人, 松本敏郎, 泉井一浩, 西脇眞二, 「Lattice Kinetic スキームを用いた流路設計問題におけるレベルセット法に基づくトポロジー最適化」, 日本機械学会 第 26 回計算力学講演会 (CMD2013) (CDROM), No. 2204, 3 pages, 佐賀大学 (2013).
- 65) 吉野正人, 「二相系格子ボルツマン法とその形状最適化問題への適用」, 日本機械

- 学会 第 26 回計算力学講演会 (CMD2013) (CDROM), No. 2201, 3 pages, 佐賀大学 (2013).
- 66) 矢地謙太郎, 山田崇恭, 吉野正人, 松本敏郎, 泉井一浩, 西脇眞二, 「最適流路設計を目的としたレベルセット法に基づくトポロジー最適化」, 日本機械学会 第 23 回設計工学システム部門講演会, No. 1114, 沖縄県読谷村 (2013).
- 67) 矢地謙太郎, 山田崇恭, 吉野正人, 松本敏郎, 泉井一浩, 西脇眞二, 「格子ボルツマン法を用いた流路設計問題におけるレベルセット法に基づくトポロジー最適化手法の適用」, 日本機械学会 2013 年度年次大会, J121024, 岡山大学 (2013).
- 68) 矢地謙太郎, 山田崇恭, 吉野正人, 松本敏郎, 泉井一浩, 西脇眞二, 「流路設計問題を対象とする格子ボルツマン法を用いたレベルセット法に基づくトポロジー最適化」, 第 18 回計算工学講演会講演論文集, No. E-4-3, 4 pages, 東京大学 (2013).
- 69) 本田健二, 吉野正人, 「二相系格子ボルツマン法を用いた固体壁に衝突する液滴の動的挙動解析」, 第 26 回数値流体力学シンポジウム講演要旨集, E03-5, 8 pages, 東京都渋谷区 (2012).
- 70) 勝見真悟, 吉野正人, 「二相系格子ボルツマン法による狭窄部を通過する赤血球の挙動解析」, 第 10 回日本流体力学学会中部支部講演会 講演概要集, 3-1, p. 11, 千曲市 (2012). 【中部支部講演会優秀賞 受賞】
- 71) 矢地謙太郎, 山田崇恭, 吉野正人, 松本敏郎, 泉井一浩, 西脇眞二, 「格子ボルツマン法を用いたレベルセット法に基づく構造最適化における一考察」, 日本機械学会第 25 回計算力学講演会 CMD2012, 2203, pp142-143, 神戸市 (2012).
- 72) 矢地謙太郎, 山田崇恭, 吉野正人, 松本敏郎, 泉井一浩, 西脇眞二, 「格子ボルツマン法を用いた構造最適化における一考察」, 日本機械学会第 22 回設計工学・システム部門講演会, 2212, pp.480-487, 広島大学 (2012).
- 73) 吉野正人, 小林勇貴, 田中義人, 「濡れ性を考慮した球状物体間における三次元気液二相流解析」, 日本混相流学会年会講演会 2012 講演論文集, B213, pp. 152-153, 東京大学柏キャンパス (2012).
- 74) 奥村美奈, 吉野正人, 柿澤幸成, 佐々木哲郎, 市川陽三, 本郷一博, 「脳血管分岐部に発生した様々な形状の動脈瘤モデルによる血流解析」, 第 35 回日本バイオレオロジー学会年会プログラム・抄録集, OS1-2, p. 32, 新潟市 (2012).
- 75) 吉野正人, 地村啓, 天野慎也, 「曲がり管内を流れる変形する物体の挙動シミュレーション」, 第 17 回計算工学講演会講演論文集(CDROM), G-5-6, 4 pages, 京都市 (2012).
- 76) 地村啓, 吉野正人, 鈴木崇司, 「格子ボルツマン法を用いた曲がり管内流れにおける物体の挙動シミュレーション」, 第 25 回数値流体力学シンポジウム講演要旨集,

E03-5, 8 pages, 大阪大学 (2011).

- 77) 地村啓, 吉野正人, 鈴木崇司, 「二相系格子ボルツマン法を用いた曲がり管内流れにおける変形する物体の挙動シミュレーション」, 第9回日本流体力学学会中部支部講演会 講演概要集, 3-4, p. 12, 豊橋技術科学大学 (2011).
- 78) 小林勇貴, 田中義人, 吉野正人, 「濡れ性を考慮した多数の球状物体間を浸透する液相の挙動解析」, 第9回日本流体力学学会中部支部講演会 講演概要集, 3-3, p. 11, 豊橋技術科学大学 (2011). 【第9回日本流体力学学会中部支部講演会優秀賞 受賞】
- 79) 村山寿郎, 吉野正人, 勝見真悟, 「格子ボルツマン法による流体中における粘弾性皮膜物体の挙動解析」, 日本混相流学会年会講演会 2011 講演論文集, A123, pp. 14-15, 京都工芸繊維大学 (2011).
- 80) 植村陽介, 田中義人, 吉野正人, 「格子ボルツマン法を用いた複雑構造内における三次元充填シミュレーション」, 日本機械学会北陸信越支部第48期総会・講演会講演論文集, 410, pp. 129-130, 信州大学 (2011).
- 81) 加藤崇, 田中義人, 吉野正人, 「表面の幾何形状を考慮したマイクロチャネル内の気液二相流の格子ボルツマンシミュレーション」, 日本機械学会北陸信越支部第48期総会・講演会講演論文集, 409, pp. 127-128, 信州大学 (2011).
- 82) 細井祐介, 田中義人, 吉野正人, 「Lattice Kinetic スキームを用いた多孔質構造内における流動現象 (複雑形状に対応した微分近似方法の提案)」, 日本機械学会北陸信越支部第40回学生員卒業研究発表講演会講演論文集, 301, 信州大学 (2011).
- 83) 鈴木崇司, 村山寿郎, 中西喬也, 吉野正人, 「格子ボルツマン法を用いた曲がり管内における二相流シミュレーション」, 第24回数値流体力学シンポジウム講演要旨集, E6-5, 8 pages, 慶應義塾大学 (2010).
- 84) 田中義人, 吉野正人, 「格子ボルツマン法による固体壁上における液滴衝突の数値シミュレーション」, 第8回日本流体力学学会中部支部講演会 講演概要集, 3-2, p. 11, 岐阜市 (2010).
- 85) 鎧郁美, 柿澤幸成, 佐々木哲郎, 吉野正人, 村山寿郎, 本郷一博, 「血管分岐角と血管径が脳動脈瘤発生に与える影響についての数値計算による検討」, 日本脳神経外科学会 第69回学術総会, 2010J-0359, 福岡市 (2010).
- 86) 小林勇貴, 田中義人, 吉野正人, 「濡れ性を考慮した多孔質構造内の気液二相流シミュレーション」, 日本混相流学会年会講演会 2010 講演論文集, B-112, pp. 36-37, 静岡大学 (2010).
- 87) 村山寿郎, 吉野正人, 平田哲夫, 「ダクト内を流れる複数個の粘弾性皮膜固体の挙動

- 解析」, 日本混相流学会年会講演会 2010 講演論文集, B-111, pp. 34–35, 静岡大学 (2010).
- 88) 地村啓, 村山寿郎, 吉野正人, 「格子ボルツマン法を用いた複数個の粘弾性皮膜固体を含む流れの二次元シミュレーション」, 第 15 回計算工学講演会講演論文集, B-15-2, pp. 291–294, 九州大学 (2010).
- 89) 中西喬也, 村山寿郎, 吉野正人, 「格子ボルツマン法による円管内流れの数値シミュレーション」, 日本機械学会北陸信越支部第 47 期総会・講演会講演論文集, 102, pp. 3–4, 新潟大学 (2010).
- 90) 田中義人, 吉野正人, 平田哲夫「固体壁への液滴衝突に関する格子ボルツマンシミュレーション」第 23 回数値流体力学シンポジウム講演要旨集, B1-5, p. 21, 仙台市 (2009).
- 91) 村山寿郎, 吉野正人, 平田哲夫, 「格子ボルツマン法による管路内流れにおける粘弾性皮膜固体の変形解析」, 第 87 期日本機械学会流体工学部門講演会講演論文集, 1415, pp. 455–456, 名古屋工業大学 (2009).
- 92) 鷲尾裕一, 田中義人, 吉野正人, 「二相系格子ボルツマン法による固体壁に衝突する液滴の動的挙動解析」, 日本機械学会 第 22 回計算力学講演会講演論文集, 106, pp. 380–381, 金沢大学 (2009).
- 93) 青田憲孝, 田中義人, 吉野正人, 松原雅春, 「LBM による三次元 Rayleigh-Taylor 不安定性の安定解析」, 日本流体力学会 年会 2009 講演論文集, p. 291, 東洋大学 (2009).
- 94) 田中義人, 吉野正人, 平田哲夫, 「二相系格子ボルツマン法による沸騰現象の三次元数値シミュレーション」, 日本混相流学会年会講演会 2009 講演論文集, D353, pp. 344–345, 熊本大学 (2009).
- 95) 村山寿郎, 吉野正人, 平田哲夫, 「二相系格子ボルツマン法による流れ場における粘弾性皮膜固体の挙動解析 (固体の体積および表面積変化を考慮した弾性モデルの改良)」, 日本混相流学会年会講演会 2009 講演論文集, D344, pp. 338–339, 熊本大学 (2009).
- 96) 田中義人, 吉野正人, 平田哲夫, 「二相系格子ボルツマン法による核沸騰過程の数値シミュレーション」, 第 46 回日本伝熱シンポジウム講演論文集 CD-ROM, D-331, 京都市 (2009).
- 97) 吉野正人, 「格子ボルツマン法の基礎理論と複雑混相流問題への適用」, 日本計算数理工学会フォーラム 計算数理工学レビューNo.2009-1, pp.11–31, 千葉大学 (2009), 【依頼講演】.
- 98) 関大輔, 松原雅春, 吉野正人, 「二次元チャンネル乱流における再層流化過程の格

- 子ボルツマンシミュレーション」, 日本機械学会東海支部第 58 期総会講演会講演論文集, 454, pp. 265–266, 岐阜大学 (2009).
- 99) 村山寿郎, 吉野正人, 「格子ボルツマン法による粘弾性皮膜固体の流れ場における挙動シミュレーション」 第 22 回数値流体力学シンポジウム講演要旨集, I6-5, p. 147, 東京都渋谷区 (2008).
- 100) 藤井康裕, 柿澤幸成, 佐々木哲郎, 吉野正人, 村山寿郎, 本郷一博, 「分岐角と血管径の影響を考慮した脳動脈分岐部まわりの血流解析」, 第 22 回数値流体力学シンポジウム講演要旨集, C11-1, p. 87, 東京都渋谷区 (2008).
- 101) 堀内康正, 吉野正人, 石津宏明, 「多成分系格子ボルツマン法を用いた多孔質内におけるイオンの移動解析」, 日本機械学会 第 21 回計算力学講演会講演論文集, 632, pp. 574–575, 琉球大学 (2008).
- 102) 藤井康裕, 柿澤幸成, 佐々木哲郎, 吉野正人, 村山寿郎, 本郷一博, 「脳動脈分岐部まわりの血流解析 一分岐角と血管径が動脈瘤発生に与える影響について」, 日本脳神経外科学会 第 67 回学術総会, 3J-08-P88-04, 盛岡市 (2008).
- 103) 鷺尾裕一, 田中義人, 吉野正人, 「二相系格子ボルツマン法を用いた固体表面における液滴の動的挙動解析」, 日本流体力学会 年会 2008 講演論文集, p. 100, 神戸大学 (2008).
- 104) 関大輔, 吉野正人, 松原雅春, 「二次元チャンネル乱流の再層流化過程における攪乱の減衰について」, 日本流体力学会 年会 2008 講演論文集, p. 28, 神戸大学 (2008).
- 105) 村山寿郎, 吉野正人, 「弾性モデルを用いた粘弾性固体を含む二相系格子ボルツマン法」, 日本混相流学会年会講演会 2008 講演論文集, pp. A174, 52–53, 会津大学 (2008). 【2008 年度 日本混相流学会 学生優秀講演賞 受賞】
- 106) 田中義人, 吉野正人, 「二相系格子ボルツマン法を用いた熱移動を伴うレイリー・テイラー不安定性の数値解析」, 日本混相流学会年会講演会 2008 講演論文集, A162, pp. 38–39, 会津大学 (2008).
- 107) 柳澤憲史, 渡辺武, 川久保洋一, 吉野正人, 「浮上ヘッドによる磁気ディスク潤滑剤移動の実験による検証」, 日本機械学会 2008 年度年次大会講演論文集, 3812, pp. 287–288, 横浜国立大学 (2008).
- 108) 田中義人, 鶴佳文, 吉野正人, 「熱移動を伴う二相系流れの格子ボルツマンシミュレーション」, 第 45 回日本伝熱シンポジウム講演論文集, E314, Vol. II+ III, pp. 795–796, つくば市 (2008).
- 109) 村山寿郎, 吉野正人, 「固体を含む二相系 LBM における弾性モデルの検討」, 第 21 回数値流体力学シンポジウム講演要旨集, p. 22, 東京都台東区 (2007).

- 110) 吉野正人, 「格子ボルツマン法による複雑混相流現象の解析」, CREST 研究集会, (ナノ・メゾ・マイクロ流動現象における計算科学), 名古屋工業大学 (2007). 【依頼講演】
- 111) 廣實孝史, 吉野正人, 三谷浩光, 「低レイノルズ数流れにおける安定問題の格子ボルツマンシミュレーション」, 日本機械学会 第 20 回計算力学講演会講演論文集, pp. 633–634, 同志社大学 (2007).
- 112) 関大輔, 鶴佳文, 吉野正人, 松原雅春, 「格子ボルツマン法による二次元チャネル乱流の再層流化現象の数値解析」, 第 85 期日本機械学会流体工学部門講演会講演論文集, p. 80, 広島大学 (2007).
- 113) 南山雄一, 飯尾昭一郎, 吉野正人, 池田敏彦, 「平置き冷凍ショーケースにおけるエアカーテンの熱流動解析」, 日本冷凍空調学会年次大会 2007 講演論文集, pp. 485–488, 東京農工大学 (2007).
- 114) 堀田陽平, 吉野正人, 廣實孝史, 「格子ボルツマン法を用いた多孔質内の非ニュートン流体解析」, 第 20 回数値流体力学シンポジウム講演要旨集, p. 157, 名古屋大学 (2006).
- 115) 村山寿郎, 吉野正人, 鳥海泰幸, 「格子ボルツマン法を用いた弾性体を含む固液二相流解析」, 第 20 回数値流体力学シンポジウム講演要旨集, p. 156, 名古屋大学 (2006).
- 116) 吉野正人, 「格子ボルツマン法による複雑な移動現象のシミュレーション」化学工学会第 38 回秋季大会, 研究発表講演要旨集(CDROM), 講演番号 F113, 福岡大学 (2006). 【展望講演】
- 117) 吉野正人, 岡村優, 水谷祐介, 「格子ボルツマン法による多孔質構造内の気泡流解析」, 日本混相流学会年会講演会 2006 講演論文集, pp. 416–417, 金沢工業大学 (2006).
- 118) 鶴佳文, 吉野正人, 松原雅春, 「格子運動論スキーム(LKS)による平行平板間乱流の再層流化現象の解析」, 日本機械学会北陸信越支部第 43 期総会・講演会講演論文集, pp. 415–416, 信州大学 (2006).
- 119) 木村竜也, 松原雅春, 吉野正人, 「LBM による薄板製コーナーペーン形状の最適化」, 日本機械学会北陸信越支部第 43 期総会・講演会講演論文集, pp. 401–402, 信州大学 (2006).
- 120) 松寄彰啓, 吉野正人, 人見尚, 「格子ボルツマン法によるコンクリート内におけるカルシウムイオンの移動現象解析」, 日本機械学会北陸信越支部第 43 期総会・講演会講演論文集, pp. 399–400, 信州大学 (2006).

- 121) 村山寿郎, 吉野正人, 「格子ボルツマン法による粘弾性を考慮した物体を含む固液二相流シミュレーション」, 日本機械学会北陸信越支部第 43 期総会・講演会講演論文集, pp. 397–398, 信州大学 (2006).
- 122) 水谷祐介, 吉野正人, 岡村優, 「格子ボルツマン法による濡れ性を考慮した物体まわりの気泡流解析」, 第 19 回数値流体力学シンポジウム講演要旨集, p. 118, 東京都渋谷区 (2005).
- 123) 三谷浩光, 吉野正人, 水谷祐介, 「格子ボルツマン法を用いた平板に落下する高粘性流体の噴流シミュレーション」, 日本機械学会 第 18 回計算力学講演会, pp. 609–610, 筑波大学 (2005).
- 124) 柳澤憲史, 川久保洋一, 吉野正人, 「浮上ヘッドによる磁気ディスク潤滑剤移動の解析 (第 2 報) —潤滑剤薄膜化の影響—」, トライボロジー学会, トライボロジー会議予稿集, E38, pp. 419–420, 東京都渋谷区 (2005).
- 125) 水谷祐介, 吉野正人, 「格子ボルツマン法による物体を含む流れ場の三次元気泡流解析」, 日本機械学会 2005 年度年次大会講演論文集, pp. 101–102, 電気通信大学 (2005).
- 126) 増田剛士, 吉野正人, 「二相系格子ボルツマン法による水平二流体の界面不安定問題の解析」, 日本機械学会東海支部第 54 期総会講演会講演論文集, pp. 227–228, 中部大学 (2005).
- 127) 増田剛士, 吉野正人, 「二相系格子ボルツマン法による界面成長に関する不安定問題の解析」, 第 18 回数値流体力学シンポジウム講演要旨集, C5-1, p. 135, 東京都渋谷区 (2004).
- 128) 吉野正人, 「格子ボルツマン法による乱流への遷移現象の解析」, 日本機械学会 2004 年度年次大会 先端技術フォーラム, pp. 126–127, 北海道大学 (2004). 【招待講演】
- 129) 吉野正人, 「格子ボルツマン法による乱流への遷移現象の解析」, LBM 研究会, 神戸大学 (2004). 【依頼講演】
- 130) 柳澤憲史, 川久保洋一, 吉野正人, 「浮上ヘッドによる磁気ディスク潤滑剤移動の解析」, トライボロジー学会, トライボロジー会議予稿集, B37, pp. 155–156, 東京都渋谷区 (2004).
- 131) 田中義人, 青田憲孝, 吉野正人, 松原雅春, 佐々木篤史, 土屋良明, 「三次元ポアズイユ流れにおける再層流化現象の直接数値シミュレーション」, 日本機械学会東海支部第 53 期総会講演会講演論文集, pp. 325–326, 大同工業大学 (2004).
- 132) 安倍伸一, 吉野正人, 「Lattice Kinetic スキームを用いた多孔質構造内の非定常流動解析」, 日本機械学会東海支部第 53 期総会講演会講演論文集, pp. 317–318,

大同工業大学 (2004).

- 133) 中村悠一, 吉野正人, 「二相系格子ボルツマン法による多孔質構造内の気泡の挙動シミュレーション」, 日本機械学会北陸信越支部第 41 期総会・講演会講演論文集, pp. 57-58, 富山県立大学 (2004).
- 134) 田中義人, 青田憲孝, 吉野正人, 松原雅春, 佐々木篤史, 土屋良明, 「直接数値シミュレーションによる平行平板間乱流の再層流化現象」, 第 17 回数値流体力学シンポジウム講演要旨集, p. 8, 東京都渋谷区 (2003).
- 135) 八川忠平, 松田安弘, 吉野正人, 「CIVA 型有限要素法による非定常二次元粘性流れの解析」, 日本機械学会関東支部第 9 期総会・講演会講演論文集, pp. 433-434, 関東学院大学 (2003).
- 136) 竹内祐介, 吉野正人, 松田安弘, 「格子ボルツマン法による多孔質構造内の気液二相流シミュレーション」, 第 16 回数値流体力学シンポジウム講演要旨集, p. 140, 東京都渋谷区 (2002).
- 137) 永井洋一, 松田安弘, 吉野正人, 「誤差解析手法を用いた四次差分法による三次元粘性流動問題の解析」, 第 16 回数値流体力学シンポジウム講演要旨集, p. 9, 東京都渋谷区 (2002).
- 138) 吉野正人, 「格子ボルツマン法による多孔質内の移動現象解析」, 化学工学会 粒子・流体プロセス部会 熱物質流体工学分科会セミナー, 京都大学 (2002). 【依頼講演】
- 139) 村上高志, 邵長城, 松田安弘, 吉野正人, 小口康明, 小松秋広, 「汎用熱流体解析システムによる保管庫内粘性流れ問題の解析」, 日本機械学会北陸信越支部第 39 期総会・講演会講演論文集, pp. 139-140, 金沢工業大学 (2002).
- 140) 市野孝太, 邵長城, 松田安弘, 吉野正人, 「任意節点配置を用いたエレメント・フリー・ガレルキン法による二次元粘性流動問題の解析」, 日本機械学会北陸信越支部第 39 期総会・講演会講演論文集, pp. 137-138, 金沢工業大学 (2002).
- 141) 山田喜士, 松田安弘, 邵長城, 吉野正人, 「非定常三次元粘性流の CIP 型有限要素法解析」, 第 15 回数値流体力学シンポジウム講演要旨集, p. 151, 東京都渋谷区 (2001).
- 142) 津田智之, 吉野正人, 竹内祐介, 松田安弘, 邵長城, 「格子ボルツマン法による二次元粘性流れ解析と従来型数値解法との比較に関する検討」, 第 15 回数値流体力学シンポジウム講演要旨集, p. 54, 東京都渋谷区 (2001).
- 143) 吉野正人, 松田安弘, 邵長城, 「格子ボルツマン法による複雑流路内の移動現象解析」, セルオートマトン・シンポジウム講演論文集, pp. 193-198, 横浜国立大学 (2001).

- 144) 邵長城, 松田安弘, 吉野正人, 「エレメント・フリー・ガレルキン法による二次元粘性流動問題の解析(第2報)」, 日本機械学会 2001 年度年次大会講演論文集, pp. 59-60, 福井大学 (2001).
- 145) 宇仁真彦, 邵長城, 松田安弘, 吉野正人, 「MSR 解法による水平二重円管内自然対流現象の解析」, 日本機械学会北陸信越支部第 38 期総会・講演会講演論文集, pp. 95-96, 信州大学 (2001).
- 146) 邵長城, 松田安弘, 吉野正人, 「エレメント・フリー・ガレルキン法による二次元粘性流動問題の解析」, 日本機械学会北陸信越支部第 38 期総会・講演会講演論文集, pp. 91-92, 信州大学 (2001).
- 147) 山田喜士, 松田安弘, 邵長城, 吉野正人, 「CIP 型有限要素法による二次元粘性流れ問題の解析 : 第 2 報:高レイノルズ数の場合」, 日本機械学会北陸信越支部第 38 期総会・講演会講演論文集, pp. 87-88, 信州大学 (2001).
- 148) 吉野正人, 松田安弘, 邵長城, 「新しい熱流動格子ボルツマン法の提案ならびに従来型数値解法との比較に関する検討」, 日本機械学会北陸信越支部第 38 期総会・講演会講演論文集, pp. 85-86, 信州大学 (2001).
- 149) 津田智之, 吉野正人, 松田安弘, 邵長城, 「二次元粘性流れ解析における格子ボルツマン法と従来型数値解法との比較に関する検討」, 日本機械学会北陸信越支部第 38 期総会・講演会講演論文集, pp. 83-84, 信州大学 (2001).
- 150) 吉野正人, 松田安弘, 邵長城, 「格子ボルツマン法による非圧縮性粘性流れの解析」, 日本機械学会北陸信越支部第 38 期総会・講演会講演論文集, pp. 81-82, 信州大学 (2001).
- 151) 内藤和幸, 松田安弘, 邵長城, 吉野正人, 「四面体要素を用いた MSR 解法による三次元粘性流れ問題の解析」, 日本機械学会北陸信越支部第 38 期総会・講演会講演論文集, pp. 73-74, 信州大学 (2001).
- 152) 中西功, 邵長城, 松田安弘, 吉野正人, 「誤差解析手法を用いた四次差分法による粘性流動問題の解析 : 流速と圧力による定式化」, 日本機械学会北陸信越支部第 38 期総会・講演会講演論文集, pp. 69-70, 信州大学 (2001).
- 153) 村上高志, 松田安弘, 邵長城, 吉野正人, 「汎用熱流体解析システムの活用に関する検討」, 日本機械学会北陸信越支部第 38 期総会・講演会講演論文集, pp. 67-68, 信州大学 (2001).
- 154) 宇仁真彦, 松田安弘, 邵長城, 吉野正人, 「変形ガレルキン法による水平二重円管内自然対流現象の解析」, 第 14 回数値流体力学シンポジウム講演要旨集, p. 186, 中央大学 (2000).

- 155) 山田喜士, 松田安弘, 邵長城, 吉野正人, 「非定常二次元粘性流の CIP 型有限要素法解析 (高レイノルズ数における最適タイム・ステップ等の検討)」, 第 14 回数値流体力学シンポジウム講演要旨集, p. 172, 中央大学 (2000).
- 156) 稲室隆二, 井上洋, 吉野正人, 荻野文丸, 「格子ボルツマン法による多孔質内の熱流動解析」, 第 37 回日本伝熱シンポジウム講演論文集, Vol. III, pp. 945–946, 神戸市 (2000).
- 157) 稲室隆二, 吉野正人, 荻野文丸, 「格子ボルツマン法による多孔質内の物質移動解析」, 第 36 回日本伝熱シンポジウム講演論文集, Vol. I, pp. 217–218, 熊本市 (1999).
- 158) 稲室隆二, 吉野正人, 荻野文丸, 「格子ボルツマン法による多孔質内における非定常流れの数値解析」, 第 9 回計算流体シンポジウム講演論文集, pp. 439–440, 工学院大学 (1998).
- 159) 稲室隆二, 吉野正人, 荻野文丸, 「多孔質内における非定常流れの数値解析」, 化学工学会・富山大会講演論文集, p. 64, 富山市 (1998).
- 160) 稲室隆二, 吉野正人, 荻野文丸, 「格子ボルツマン法による多孔質構造内の流動および熱・物質移動解析」, 化学工学会・特別研究会「熱物質流体工学」夏期セミナー, 京田辺市 (1998). 【依頼講演】
- 161) 稲室隆二, 吉野正人, 荻野文丸, 「格子ボルツマン法による多数の球からなる多孔質内の流動解析」, 化学工学会第 63 年会研究発表講演要旨集, 第 1 分冊, p. 303, 関西大学 (1998).
- 162) 稲室隆二, 吉野正人, 荻野文丸, 「格子ボルツマン法による多孔質内の流動解析」, 化学工学会第 62 年会研究発表講演要旨集, 第 1 分冊, p. 71, 東京農工大学 (1997).
- 163) 稲室隆二, 吉野正人, 荻野文丸, 「格子ボルツマン法におけるすべりなし境界条件」, 第 9 回数値流体力学シンポジウム講演論文集, pp. 345–346, 中央大学 (1995).